



個別報告 : 日本・韓国の断層特性 : 都市の隠れた活断層をさぐる (アジアにおける防災交流を考える・・神戸市とソウル市を例にして)

宮田, 隆夫

(Citation)

震災対策技術展 神戸大学都市安全研究センターシンポジウム, 7:34-38

(Issue Date)

2003-01-30

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/80020139>



日本・韓国の断層特性一

都市の隠れた活断層をさぐる

神戸大学理学部 宮田隆夫

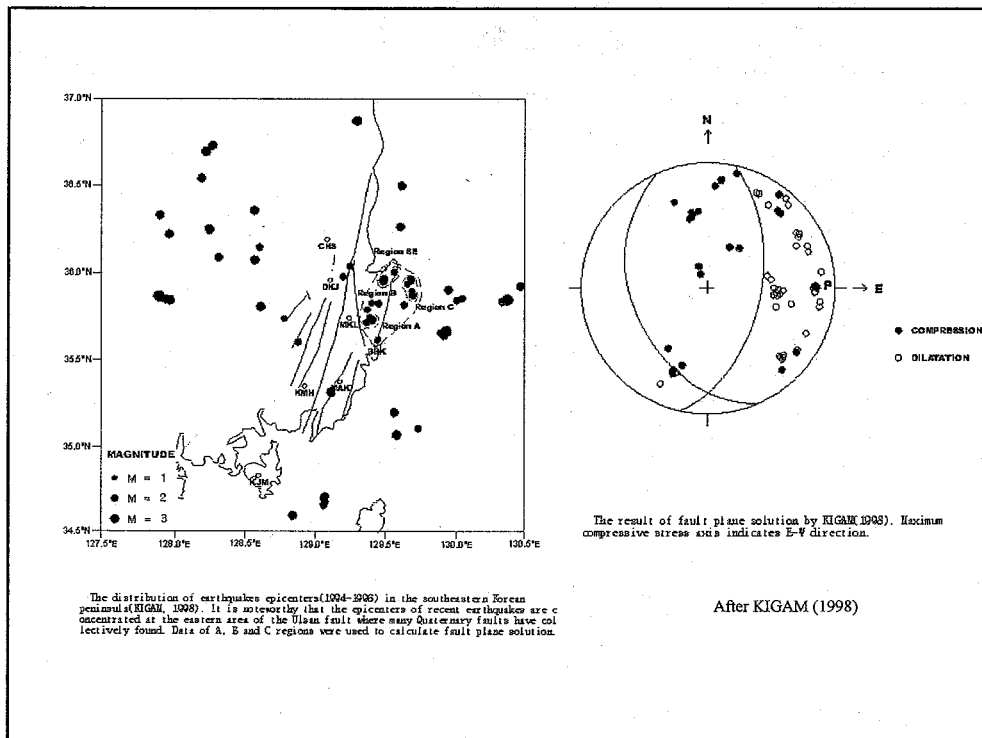
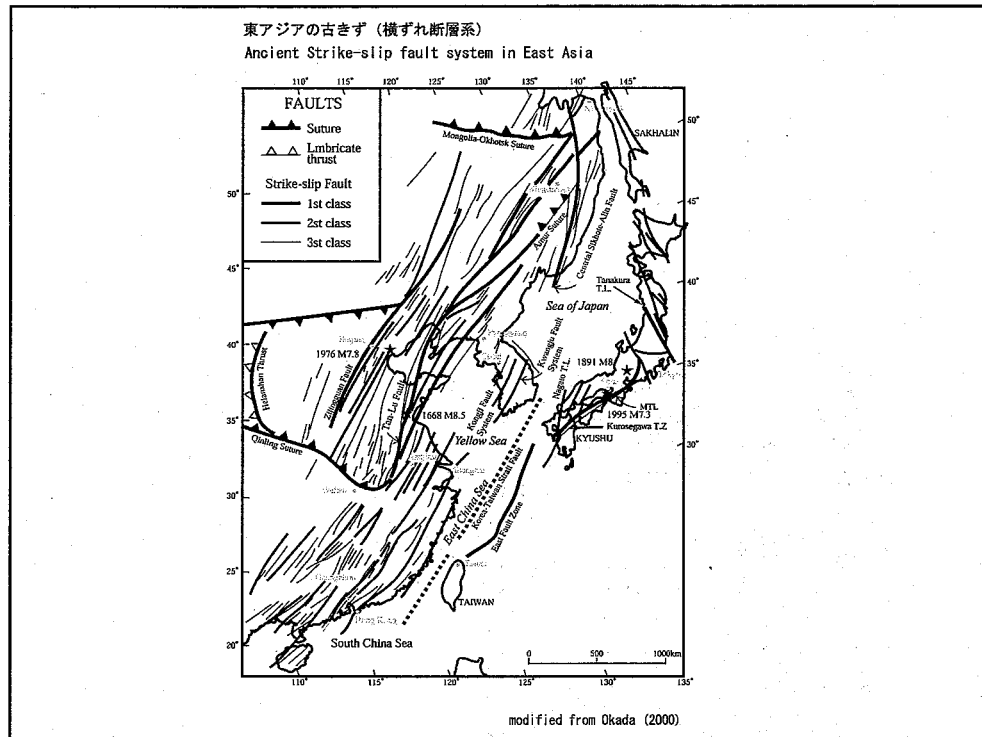
1. はじめに
2. 東アジアと韓国の断層の特性
3. 都市を横切る活断層
4. 震災軽減に向けた活断層の研究
5. まとめ

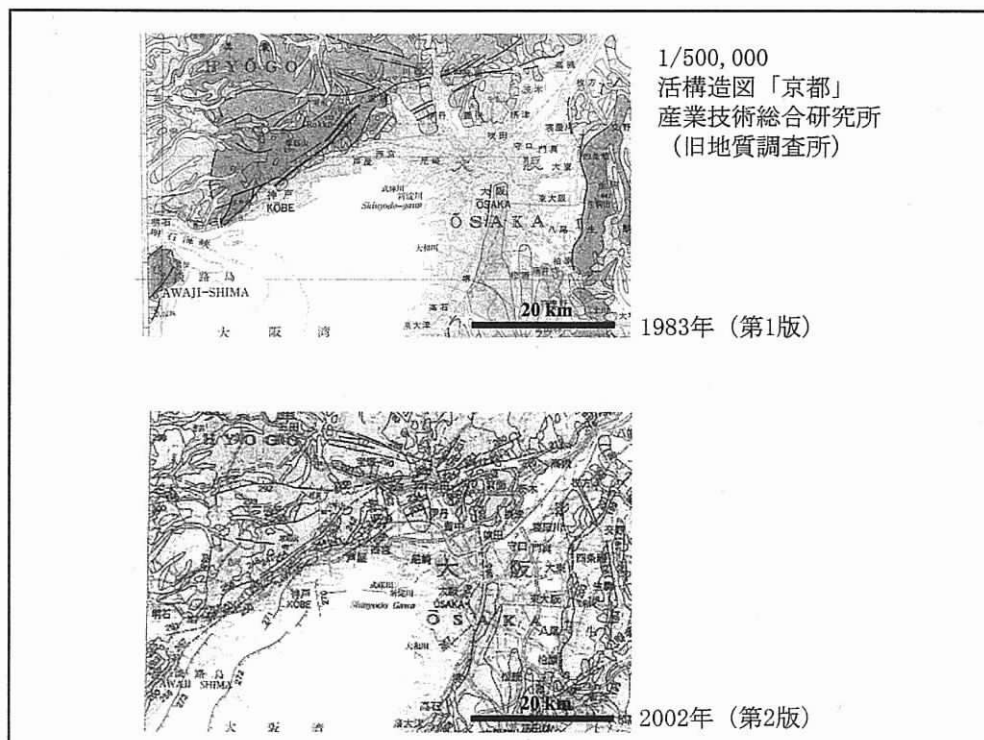
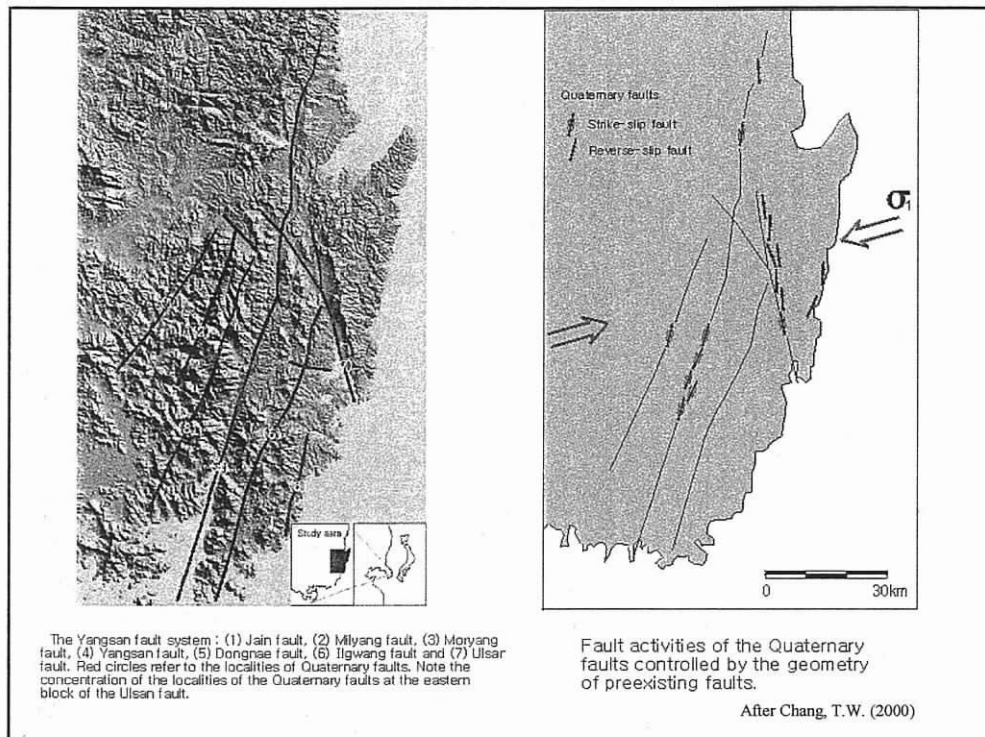
活断層をもつ都市の課題

○隠れた活断層の位置と活動歴の把握

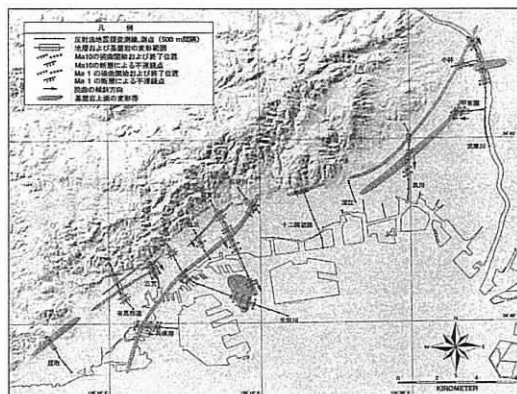
cf. 隠れた活断層＝伏在活断層(あるいは潜在活断層,
埋もれた活断層)

○断層近傍の強い揺れ(S波)による被害と断層変位による被害の把握と予測

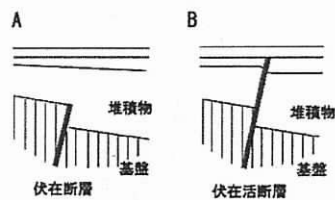




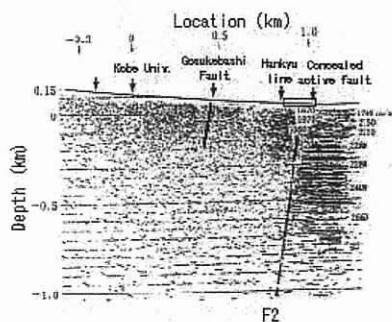
基盤岩上面の変形帯の分布



新関西地盤，神戸および阪神間（1998）より

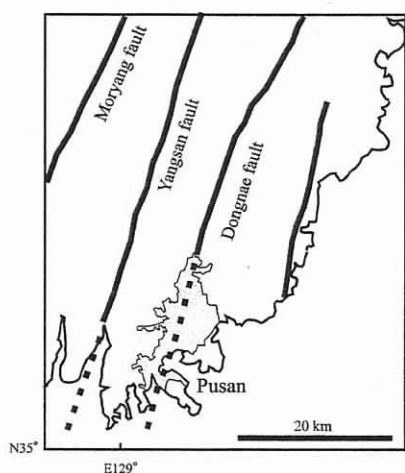


伏在断層と伏在活断層との違い



源栄・永野（1996）より

都市の伏在活断層

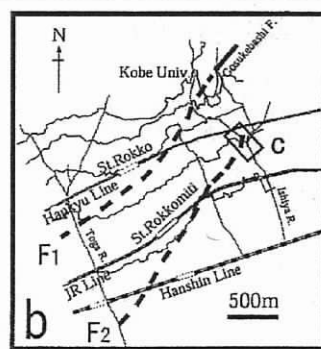


a

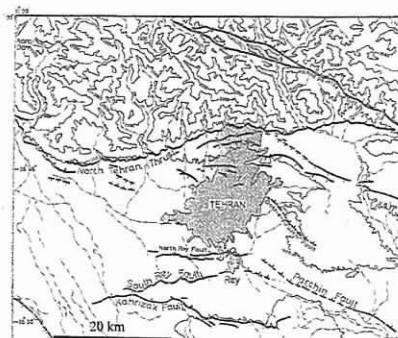
プサン テヘラン

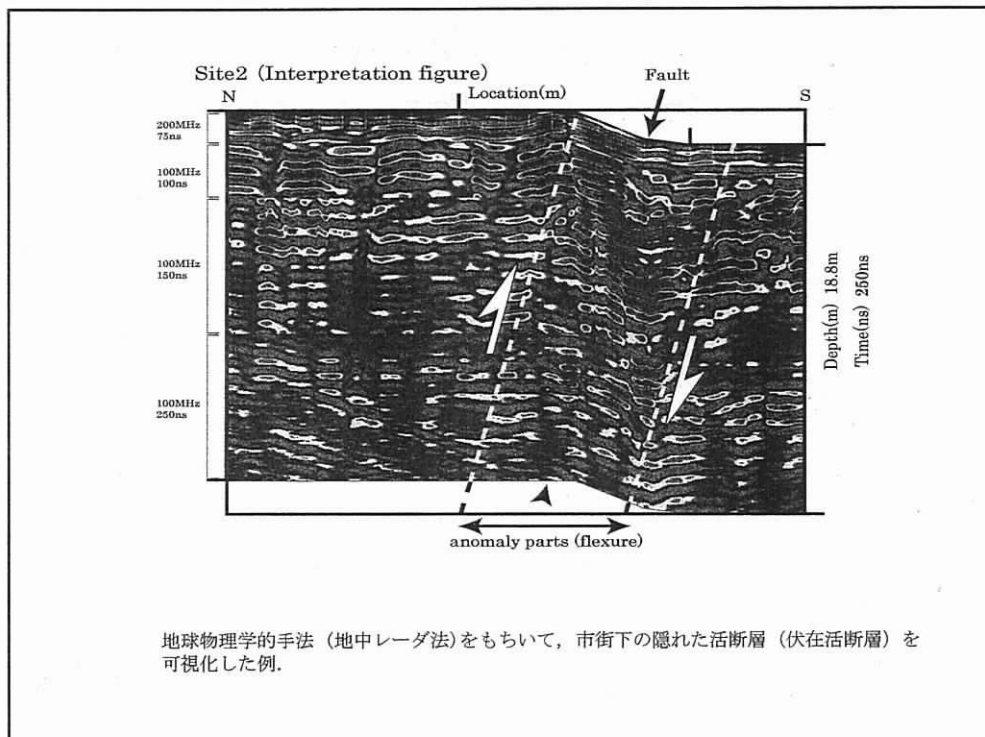
c

Berberian et al. (1983) より



神戸





まとめ

- (1) アジア大陸東部には中生代白亜紀～新生代第三紀にできた多数の古きず（横ずれ断層系）があり，その一部は新しい時期（新生代第四紀）にも再動している。
- (2) 韓国では，その南東部に第四紀に活動的な断層があり，ほぼ東西方向の圧縮によってその動きが説明される。この圧縮方向は，日本列島の活断層の動きなどから推定される圧縮方向とよく調和している。
- (3) 都市の震災軽減に向けて，市街地を横切る活断層の正確な位置と活動歴の把握が重要である。地球科学的手法（地中レーダ法，地震反射法など）は都市活断層を把握するのに有効である。